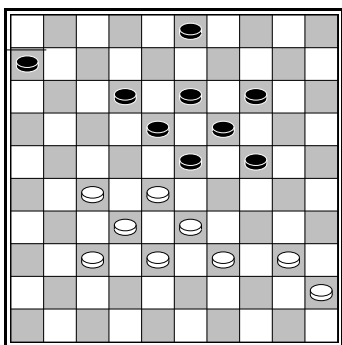


5. クープ・ロイヤル



クープ・ロイヤルはこんなショットです。

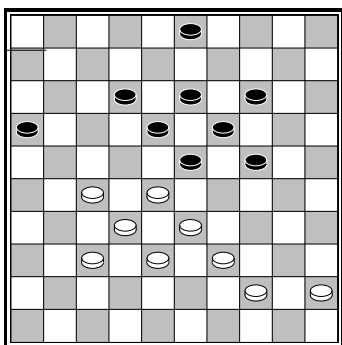
1.27 - 22! 18 x 27
2.32 x 21 23 x 34
3.40 x 7

白 27-22 の手には次のような効果があります。

- ・ 黒 18 に穴を開けます。
- ・ 白 32 に穴が開くため、黒に 3 コマ取らせ、34 に呼び込むことができます。
- ・ 白 40 で黒の 5 コマを取ることができます。

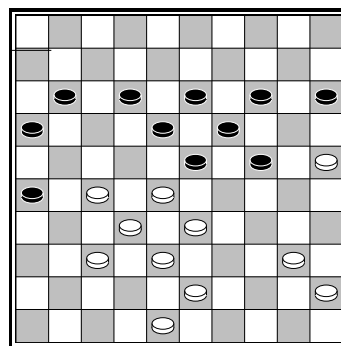
ショットの結果、白は 4 コマ捨て、6 コマを取っています。白優勢です。

☀ 白 40 と 45 がショットの土台としてよく働いています。この 40 と 45 は「オリンピック・フォーメーション」と呼ばれています。



この図では、まだオリンピック・フォーメーションが完成していません。コンビネーションの間にフリー・ムーブが使えるようになりますので、その時 44-40 とし、フォーメーションを完成させます。

1.27 - 22! 18 x 27
2.32 x 21 23 x 34
3.44 - 40! 16 x 27
4.40 x 7



白にしかオリンピック・フォーメーションがありません。そのため、白が優勢です。

※訳者注：さらっと書いてありますが、「なぜ白が優勢なのか」疑問に思う方も多いと思います。一つの理由が、ここで書いてあるように、フォーメーションがないため、34 から始まるショットができないということです。もう一つ別の理由もあります。黒 11 には、黒 6 がおらず、これは「底が抜けた」状態です。「底が抜けている」と後ろにコマがありませんので、前からアタックされると攻め取りされてしまいます。「悪い形」だということも理由の一つです。

白は次の手で、クープ・ロイヤルの狙いを見せます。

1.43 - 39!

上級者は、ショットを「見せ球」として使い、相手の手を制約し、別のショットへ導いたりします。

白 43-39 で、白は次の 27 - 22!! を狙っています。「クープ・ロイヤルの狙いを見せている」状態です。黒はどうすれば防げるでしょうか？黒 11 - 17 や 12 - 17 だと、白 27 - 22! が成立します。コマ損をしない応手は黒 15 - 20 だけです。その後、白は 34/40/25 のフォーメーションを作ります。

※訳者注：フォーメーションとは、ショットのもとになる形です。「捨てコマにできるコマ」

「ショットの土台になるコマ」を含む形であり、いろいろな形があります。通常 3 コマ以上が連携する形でそばに在る必要があります。オリンピック・フォーメーションは、45/40 の 2 コマですが、ショットを決めるには捨てコマとなる白 34 や白 39 が必要です。

1... 15 - 20 2.39 - 34!

ここで新しい「狙い」が生じました。白は白 34 - 29 黒 23 x 34 白 40 x 29 で、白のいい形を作ろうとしています。

※訳者注：この形がいい形であることを理解するのは今の段階では難しいと思います。ここではそういうものだと、気にしないで下さい。

例えば、このような展開になります。

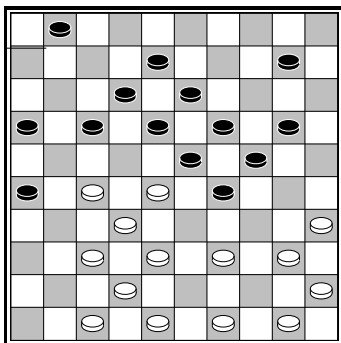
2... 11 - 17 3.34 - 29! 23 x 34 4.40 x 29 17 - 21 5.45 - 40 12 - 17 6.40 - 35 17 - 22 8.28 x 17 21 x 12 7.32 - 28 12 - 17 8.38 - 32 17 - 22 (17 - 21 とすると、9.48 - 42 とされ、その後黒には大量にコマを取られる自滅手以外の手がありません。)

9.28 x 17 19 - 23 10.27 - 22! 18 x 38 11.29 x 9 14 x 3 12.25 x 14 38 x 29 となり、白がキングを作れるため、白の勝ちになります。

2... 24 - 30 とすると、3.34 - 29! 23 x 34 4.40 x 29 30 - 35 となり、29-23 というショットがあり、白が 1 コマ得になります。

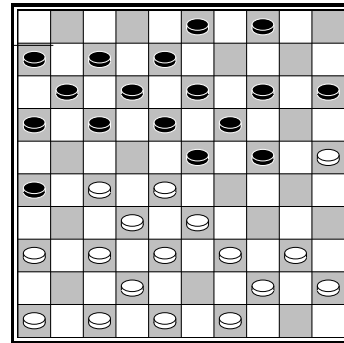
※訳者注：白が 1 コマ得になる場合、棋譜上、W +1 と表記します。また優勢の場合、棋譜上「+」を付け加えます。

2... 23 - 29 なら、3.34 x 23 18 x 29 4.48 - 43 11 - 17 5.43 - 39 17 - 21 6.40 - 35 とし、次の手で 35 - 30 + を狙います。



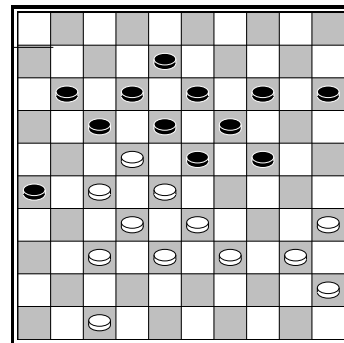
クープ・ロイヤルが終わった後、更にコンビネーションが続くことがあります。この図では、クープ・ロイヤルの後に、キングをつくるショットが続きます。

**1.27 - 22! 18 x 27
2.32 x 21 23 x 34
3.35 - 30 20 x 40
4.50 x 30 16 x 27
5.37 - 32 27 x 38
6.42 x 4**

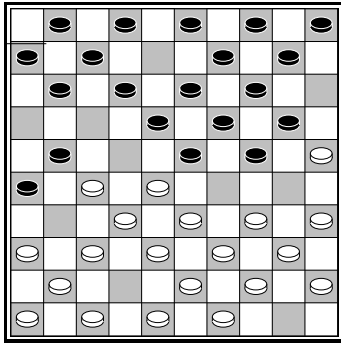


**1.27 - 22! 18 x 27
2.32 x 21 23 x 34
3.40 x 18 16 x 27
4.47 - 41 12 x 23
5.37 - 31 26 x 37
6.41 x 1**

次の図も、クープ・ロイヤルの後に、更にコンビネーションが続き、キングを作るショットがあります。

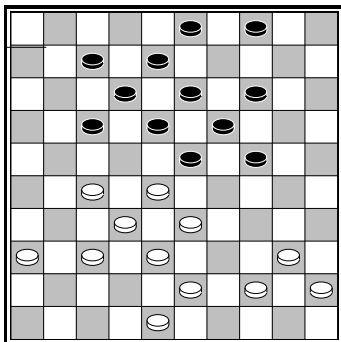


**1.37 - 31 26 x 37
2.32 x 41 23 x 34
3.40 x 9 17 x 39
4.45 - 40 13 x 4
6.40 - 34 39 x 30
7.35 x 2**



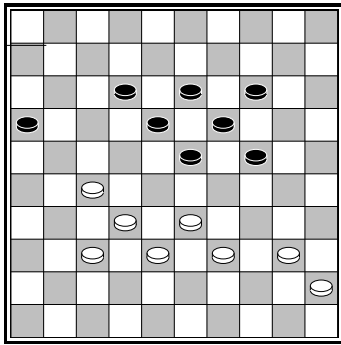
白が 31-27 と指し、黒 21 の攻め取りを見せたところですが、白は罠にかかっています。白は黒 11-16 を予想していたのですが、美しいコンビネーションがあります。

- 1... 24 - 29!!
- 2.33 x 15 19 - 24
- 3.28 x 17 11 x 33
- 4.39 x 28 24 - 30
- 5.35 x 24 14 - 20
- 6.25 x 14 10 x 50

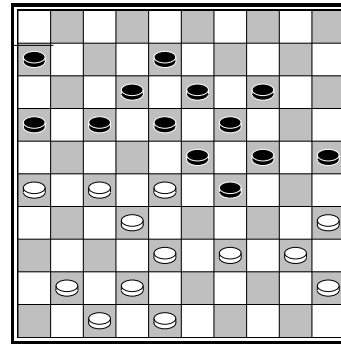


W 白は 37-31 で次の 27-22 の狙いを見せ、最後にクープ・ロイヤルを決めます。

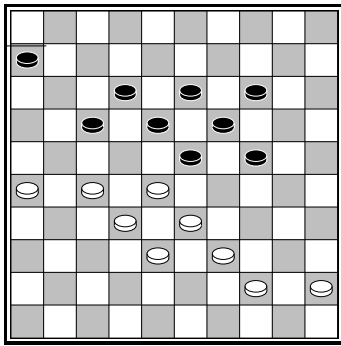
- 1.37 - 31! 7 - 11
- 2.27 - 22! 18 x 27
- 3.32 x 21 17 x 37
- 4.43 - 39 23 x 34
- 5.40 x 16



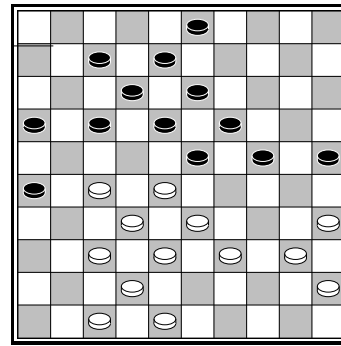
C 5.1



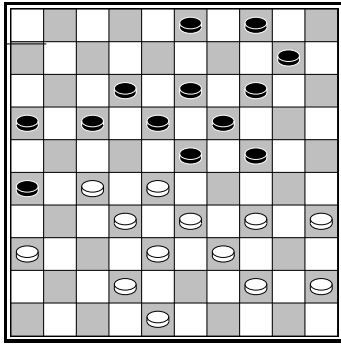
C 5.5



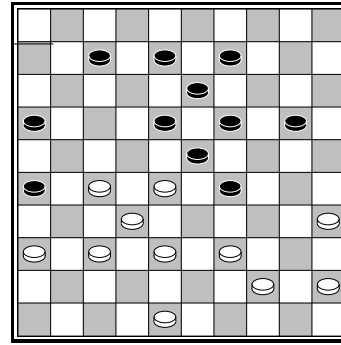
C 5.2



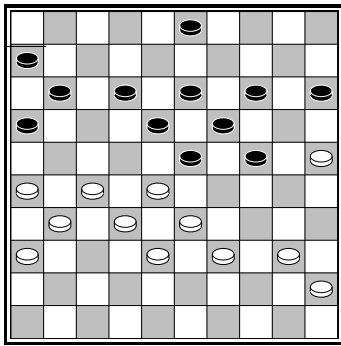
C 5.6



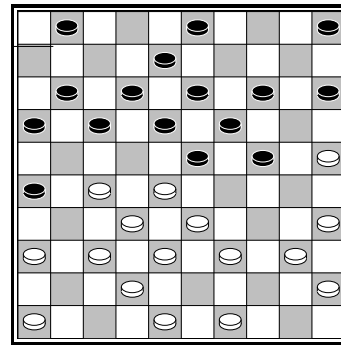
C 5.3



C 5.7



C 5.4



C 5.8